

## 高校カリキュラム

### 1. G l o b e 研究仮説について

#### (1) 研究仮説

研究仮説は以下の通り。

「国際教育を中核とした新教科『グローブ (G l o b e)』を創設し、指導内容、指導方法、評価方法を体系的に構築することで、自国の歴史や文化、伝統に対する理解を深めるとともに、異文化を理解し、異なる文化や習慣を持つ人々と共に生きていく (多文化共生) のための資質・能力を育成することができる。」

#### (2) 仮説の整理

① 手段：新教科『グローブ (G l o b e)』を包括的に創設する。

② 成果：成果 1) 自国の歴史・文化に対する造詣が深まる

成果 2) 異文化に対する理解が深まる

成果 3) 多文化共生のための資質・能力が育成される

③ 各成果の目的

上記の成果 1) と成果 2) が土台となって成果 3) が期待されるようになる。成果 1)、成果 2) と成果 3) の関係性や目的を再度整理する。

i) なぜ成果 1) があげられることで成果 3) を期待できるようになるのか

日本人、そして上川地方で生まれ育った一人の人間としてのアイデンティティを確立することで、生まれ育った地域や文化を大切に思う気持ちが醸成される。この郷土愛の感性を持つことにより、異文化の人々がそれぞれ自身の歴史・文化に対して誇りや愛着を抱く気持ちに共感を寄せられるようになる。

**成果 1) の目的：自国・自地域に対する愛着の形成とそれに基づく共感力の獲得**

ii) なぜ成果 2) があげられることで成果 3) を期待できるようになるのか

異文化を理解することで偏見や誤解を回避し、公平・公正な態度と見方で世界の人々や文化、出来事と向き合うことができる。これにより多様な国や文化出身の人々との関係構築が容易になり、より豊かで建設的な意見交換や交流活動、協働的な取り組みができるようになる。

**成果 2) の目的：偏見や誤解のない多文化共生のための関係構築**

iii) 成果 3) があげられることで何が期待できるようになるのか

情報と人がボーダレスに移動する時代となり、国境を越える物資や資金が今後いっそう増加する中で、問題や課題の解決、もしくは新たな価値の創造といった取り組みは、限られた環境内でなされるものではない。文化芸術、科学技術、政治経済など、あらゆる分野においてグローバルな活動が増えていく中で、多文化共生のための資質・能力は他者や社会とより主体的でより建設的な関わりを持つ上で不可欠である。

また、英語という言語を通してつながる世界が拡充していく潮流に大きな変更は起きそうにない。多文化共生のための関係構築を目指すにあたり、一定程度の英語運用能力は社会参画の基本的な資格となっていく可能性が高い。

**成果 3) の期待：ボーダレスな社会活動に対する主体的参画のための資格獲得**

## 2. G l o b e シラバスの概要

### (1) 基本的な区分

以下のような区分としたい。なお、以下の区分は大まかなものとしての位置づけであり、学習の進捗や内容、あるいは学校行事との関わりの中で順序の前後や混在があるものとする。

第Ⅰ期：基礎英語力充実期

第Ⅱ期：グローブのための基礎養成期

第Ⅲ期：関係構築と情報交換期

第Ⅳ期：社会参画準備期

### (2) 各区分の取り組みとねらい

#### ① 第Ⅰ期：基礎英語力充実期

中学校時代で英語を苦手とする生徒が多くいるため、中学校英語の復習を中心に基礎学力を養成し、コミュニケーション能力の土台を形成する。この時に、コミュニケーション手段としての位置づけを意識した英語教育を推進するものとする。

#### ② 第Ⅱ期：グローブのための基礎養成期

教科書との関わりから始めて、『基本情報→発展的内容』の組み合わせで自国や自地域も含めた多様な社会や文化の基本情報と一般的な考え方を学習する。ここでの『一般的な考え方』とは、国際社会的も含め、一般に認知されている情報としての『考え方』にとどまらず、考える方法、すなわち『問題・課題の発見→調査・分析・検討→意見や案の産出』という思考形式としての『考え方』をも育成することを視野に入れるものとする。

#### ③ 第Ⅲ期：関係構築と情報交換期

コミュニケーションの目的は大きく2つあると考える。一つはコミュニティ形成を目的とした関係構築である。この場合のコミュニケーションは、情報内容そのものよりも自己開示や相互理解という行為自体に重点が置かれる。そしてその結果、コミュニケーションを取る両者が互いに個人レベルで情緒的な関係性を形成することが目指される。

もう一つのコミュニケーションは、伝達される情報自体に価値が置かれる合目的型のコミュニケーションである。論文やプレゼンテーション、あるいはインタビューや討論など、伝えるべき内容を簡潔・明瞭かつ論理的に述べる、表現上のある『型』が重要になる領域と云っていい。

この両スタイルのコミュニケーション様式は時に別々に、時に混在して現れるが、指導場面としてはそれぞれ異なるスキルとして学習させたい。

#### ④ 第Ⅳ期：社会参画準備期

第Ⅰ期から第Ⅲ期の間で学習したことを生かしつつ、生徒たちが高校卒業後に直面するだろう実際の場面を想定して、いかに主体的に社会参画できるかをテーマとした学習を行うものとする。この際、国際的な協力関係の構築という一面は意識しつつも、軸足としては生徒の主体性により重きを置きたい。すなわち、これまでの学習で社会的な問題・課題の概要を理解した上で、自分自身がどのように行動できるか、行動すべきか、行動したいかを考えさえる場とすることで、仮説に包含される成果3)を達成することを目指したい。

### 3. 指導計画

#### (1) 1年次

単元名 (時数)	中学校の復習 (12時間)	
時期 (区分)	4月 (第I期)	
単元の目標	【知技】文法事項を中心に振り返る	
言語材料	新出表現	
	既習表現	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 be 動詞・代名詞の復習	文法ドリル (C)
2 【知】 一般動詞・命令文の復習	文法ドリル (C)
3 【知】 時制表現の復習	文法ドリル (C)
4 【知】 助動詞の復習	文法ドリル (C)
5 【知】 進行形・受動態の復習	文法ドリル (C)
6 【知】 現在完了の復習	文法ドリル (C)
7 【知】 比較の復習	文法ドリル (C)
8 【知】 接続詞・間接疑問の復習	文法ドリル (C)
9 【知】 不定詞の復習	文法ドリル (C)
10 【知】 動名詞の復習	文法ドリル (C)
11 【知】 後置修飾・関係代名詞の復習 1	文法ドリル (C)
12 【知】 後置修飾・関係代名詞の復習 2	【L】既習表現を活用しての自己表現 (C・L)

単元名 (時数)	Lesson 1 Kerama Blue (7時間)	
時期 (区分)	5月 (第II期)	
単元の目標	<p>【知技】 be 動詞および一般動詞を用いた基本的な文型を理解する</p> <p>【思判表】 慶良間の海の紹介文を読み、同地域の特色を理解する。また、本文を例に自分か暮らす地域の紹介文を作成する。</p> <p>【学び】 自分が暮らす地域のことを知り、その素晴らしさに気づく</p>	
言語材料	新出表現	many kinds of ~, against, look after
	既習表現	be 動詞、一般動詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【知】本文内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> </ul>
2 【知】be動詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● be動詞活用ドリル（C）</li> </ul>
3 【知】本文内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> </ul>
4 【知】一般動詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 一般動詞活用ドリル（C）</li> </ul>
5 【思・学】自分が暮らす地域の特徴と魅力を知る1	● インターネットを利用して自分が暮らす地域の特徴と魅力をリサーチする（L）
6 【思・学】自分が暮らす地域の特徴と魅力を知る2	● 自分のリサーチをもとに地元紹介の英文を作る（C・L）
7 【思・学】自分が暮らす地域の特徴と魅力を知る3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元紹介をポスター形式で発表しあう</li> <li>● 発表を互いに評価しあう</li> </ul>

単元名（時数）	Lesson 2 Cool Japan（7時間）	
時期（区分）	6月（前期）（第Ⅱ期）	
単元の目標	<p>【知技】日本の魅力を他の国の視点から知る</p> <p>【思判表】海外からの視線で日本を再評価する</p> <p>【学び】自分たちにとって当然なことが、海外の人の目から見ると魅力や驚きに映ることがあるのに気づき、自身の視野を広げる</p>	
言語材料	新出表現	What else, all kinds of ~
	既習表現	疑問文、現在進行形

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【知】本文内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> </ul>
2 【知】疑問文の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 疑問文活用ドリル（C）</li> </ul>
3 【知】本文内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> </ul>
4 【知】現在進行形の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 現在進行形活用ドリル（C）</li> </ul>
5 【思・学】自分が暮らす地域の特徴を知る1	● 日本文化には他国と比べてどんな魅力があるか調べる。（L/G）

6	【思・学】自分が暮らす地域の魅力を知る 2	● 調べた事を英文でまとめる。(C/G)
7	【思・学】自分が暮らす地域の魅力を知る 3	● 調べた内容を英語で発表しあう ● 互いの発表を評価しあう

単元名 (時数)	Lesson 3 Mexican Dishes (11 時間)	
時期 (区分)	6 月(後期) (第 II 期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> メキシコ料理の歴史的背景について理解する <b>【思判表】</b> 日本と海外の食文化の歴史に触れることで、それぞれの食文化の豊かさに気づく <b>【学び】</b> 「食」を「文化」としてとらえ、それに対する自らの関心を育む	
言語材料	新出表現	in the old days, add ~ into ~
	既習表現	過去形、助動詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文内容の理解 1	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C)
2 【知】 過去形の用法の理解 1	● 音読・文構造理解 (C) ● 過去形活用ドリル (C)
3 【知】 本文内容の理解 2	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C)
4 【知】 助動詞の用法の理解 1	● 音読・文構造理解 (C) ● 助動詞活用ドリル (C)
5 【知】 過去形の用法の理解 2	● 過去形を用いたインプット活動(C)
6 【知】 過去形の用法の理解 3	● 過去形を用いたアウトプット活動(C)
7 【知】 助動詞の用法の理解 2	● 助動詞を用いたインプット活動(C)
8 【知】 助動詞の用法の理解 3	● 助動詞を用いたアウトプット活動(C)
9 【知】 本文内容の理解 3	● 語彙の整理と確認 (C)
10 【思・学】 日本食とメキシコ料理における歴史的背景を知る 1	● 特色ある食文化について比較したり調べたりする (L/G)
11 【思・学】 日本食とメキシコ料理における歴史的背景を知る 2	● 食文化について分かったことを英文でまとめ発表する。(L/G)

単元名 (時数)	Lesson 4 The Olympics (10 時間)	
時期 (区分)	7 月 (第 II 期)	
単元の目標	<p>【知技】 オリンピックの歴史がどのように変化してきたのかを知る</p> <p>【思判表】 オリンピックがもつメッセージ性に気づき、それについて調べたり考えたりしたことを伝え合う</p> <p>【学び】 性差別や障がいに対する差別がどのように解消されるべきか考える</p>	
言語材料	新出表現	contribute to ~, take part in, in addition
	既習表現	SVO(=that~), SVOO, SVOC

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
2 【知】 SVO の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● SVO 活用ドリル (C)</li> </ul>
3 【知】 本文内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
4 【知】 SVOO の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● SVOO 活用ドリル (C)</li> </ul>
5 【知】 本文内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
6 【知】 SVOC の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● SVOC 活用ドリル (C)</li> </ul>
7 【知】 SVO,SVOO 用法の理解	● I think that~を使い自分の思いを表現する(C)
8 【知】 SVOC 用法の理解	● 第 5 文型を使い英文をつくる事が出来る(C)
9 【思・学】 オリンピックの歴史について学ぶ 1	● オリンピックの歴史についての英文を読む(G/L/C)
10 【思・学】 オリンピックの歴史について学ぶ 2	● オリンピックと社会問題とのかかわりについてトピックを絞り、リサーチする(G/L)
11 【思・学】 オリンピックの歴史について学ぶ 3	● リサーチ内容を英語にする
12 【思・学】 オリンピックの歴史について学ぶ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リサーチ内容発表し情報交換する</li> <li>● オリンピックが持つ意義をより深く理解する</li> </ul>

単元名 (時数)	Lesson 5 Baobabs in Madagascar (15 時間)	
時期 (区分)	8~9 月 (第II期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> バオバブの保護について学ぶ <b>【思判表】</b> 地元の環境問題に目を向け、保護のあり方を考える <b>【学び】</b> 自分たちにできる環境保護を考える姿勢を持つ	
言語材料	新出表現	列挙の表現、手段の with
	既習表現	不定詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
2 【知】 不定詞の用法の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 名詞的用法活用ドリル (C)</li> </ul>
3 【知】 本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
4 【知】 不定詞の用法の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 形容詞用法活用ドリル (C)</li> </ul>
5 【知】 本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
6 【知】 不定詞の用法の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 副詞用法活用ドリル (C)</li> </ul>
7 【知】 本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
8 【知/思】 本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● マダガスカル環境問題を取り上げる(C)</li> </ul>
9 【知/思】 本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間での環境問題の情報を共有(G/C)</li> </ul>
10 【知/思】 本文内容の理解 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分で調べたことを英文でまとめる(G/C)</li> </ul>
11 【知/思】 本文内容の理解 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分で調べたことを英語で発表しあう(G/C)</li> </ul>
12 【知/学】 地元地域の自然について特徴と魅力を知る 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットを利用して自分が暮らす地域の自然環境について調べる(L)</li> </ul>
13 【知/学】 地元地域の自然について特徴と魅力を知る 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が暮らす地域の特徴や魅力について紹介を英文で作る(L)</li> </ul>
14 【知/学/思】 地元地域の自然について特徴と魅力を知る 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マダガスカルと自分が暮らす地域を比較、情報共有し、英文でまとめる(L/G/C)</li> </ul>
15 【知/学/思】 地元地域の自然について特徴と魅力を知る 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分でまとめた英文を発表する(L/G/C)</li> </ul>

単元名 (時数)	Lesson 6 Toothbrushing in Edo (12 時間)	
時期 (区分)	9~10 月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> 江戸時代の歯磨きをもとに身の回りにある物の歴史を知る <b>【思判表】</b> 身近なものの歴史を調べ、興味を抱いたものの紹介をしあう <b>【学び】</b> 身近なものの歴史を紐解くことで、自身の文化の歴史に関心を持つ	
言語	新出表現	ancient, in the middle of ~
材料	既習表現	動名詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
2 【知】 本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
3 【知】 本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
4 【知】 本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
5 【知】 本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
6 【知】 本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
7 【知】 動詞の用法の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動詞の活用を用いた表現活動(C)</li> </ul>
8 【知】 動名詞の用法の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動名詞の活用を用いた表現方法(C)</li> </ul>
9 【知】 本文内容の理解 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● リテリングによる本文表現の定着(C)</li> </ul>
10 【知/学/思】日本文化について学ぶ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べてみたい物を決め、インターネットで調べる(L)</li> </ul>
11 【知/学/思】日本文化について学ぶ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べた身近な物について英文で紹介文を作る(L/C)</li> </ul>
12 【知/学/思】日本文化について学ぶ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べた物についての紹介文と決めた理由について英語で発表する(L/C/G)</li> </ul>

単元名 (時数)	Lesson 7 Machu Picchu (15 時間)	
時期 (区分)	10~11 月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<p>【知技】世界遺産マチュピチュが複合遺産に指定登録されている理由を知る</p> <p>【思判表】世界遺産の成立や指定の経緯から、それぞれの遺産の意義や価値を再確認しそれを互いに共有しあう</p> <p>【学び】国内外の世界遺産に関する学びから、自身のクラス地域や世界各地の多様さと豊かさを知り、後世に伝えようとする気持ちを持つ</p>	
言語 材料	新出表現	have something to do with ~, 感嘆文
	既習表現	現在完了形

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
2 【知】現在形の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 現在形用法活用ドリル (C)</li> </ul>
3 【知】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
4 【知】過去形の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 過去形用法活用ドリル (C)</li> </ul>
5 【知】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
6 【知】現在完了形の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 現在完了形用法活用ドリル (C)</li> </ul>
7 【知/思】本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なぜマチュピチュが複合遺産に登録されているのか整理する(G)</li> </ul>
8 【知/学/思】日本の世界遺産について調べる 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットなどで日本の世界遺産を調べる(L)</li> </ul>
9 【知/学/思】日本の世界遺産について調べる 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べてみたい世界遺産を決め、歴史を探る(L)</li> </ul>
10 【知/学/思】日本の世界遺産について調べる 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べた世界遺産について理解したことを英文でまとめる(L)</li> </ul>
11 【知】現在完了形の学習 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在完了形を用い日本の世界遺産について英文を作る(L)</li> </ul>
12 【知】現在完了形の学習 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時にもとづき作成した文で表現してみる(L/C)</li> </ul>
13 【知/学/思】本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒間の意見交換での理解(C)</li> </ul>
14 【知/学/思】本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の考えと得た意見を元に英文でまとめる(L/G)</li> </ul>
15 【知/学/思】本文内容の理解 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まとめた考えを発表する(L/G/C)</li> </ul>

単元名 (時数)	Lesson 8 Motala and Landmines (15 時間)	
時期 (区分)	11~12 月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<p>【知技】地雷で義足になったゾウのモタラを通して命の大切さを学ぶ</p> <p>【思判表】良いものと悪いものの両方を含め、人が動物にどのような影響を与えてきたか調べ、人の抱えている課題に気づく</p> <p>【学び】自身がどのようにその課題にかかわっていけるか考える</p>	
言語	新出表現	dozens of ~, artificial, be injured
材料	既習表現	受動態

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
2 【知】受け身の用法の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 現在形用法活用ドリル (C)</li> </ul>
3 【知】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
4 【知】受け身の用法の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 過去形用法活用ドリル (C)</li> </ul>
5 【知】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
6 【知】受け身の用法の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 否定文・疑問文用法活用ドリル (C)</li> </ul>
7 【知/思】本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モタラが地雷を踏んだことにより、人間に与えた影響は何か考える(L/G)</li> </ul>
8 【知】本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
9 【知】本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間での Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
10 【知】本文内容の理解 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイの人々とゾウの関係を考える(L)</li> </ul>
11 【知】本文内容の理解 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人と動物の関係について自ら問いを立てる(C)</li> </ul>
12 【知/学/思】本文内容の理解 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立てた問いに対し、自らリサーチを通して答えを得る(C/G)</li> </ul>
13 【知/学/思】本文内容の理解 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 得た内容をもとにし、英文でまとめる(G/L)</li> </ul>
14 【知/学/思】本文内容の理解 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まとめた内容を発表する 1 (L/G/C)</li> </ul>
15 【知/学/思】本文内容の理解 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まとめた内容を発表する 2 (L/G/C)</li> </ul>

単元名 (時数)	Lesson 9 Dick Bruna (18 時間)	
時期 (区分)	1~2 月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> ディック・ブルーナの作品づくりのポイントを理解する <b>【思判表】</b> デザインがどのような力を持ちうるのか考える <b>【学び】</b> デザインについて関心を持つ	
言語	新出表現	such as, thanks to ~
材料	既習表現	受動態、関係代名詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
2 【知/思】 ディック・ブルーナについて知る 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表作である「ミッフィー」はどのようにして生まれたのか知る 1 (L/G)</li> </ul>
3 【知】 本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間での Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
4 【知】 関係代名詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 関係代名詞 who の用法活用ドリル (C)</li> </ul>
5 【知/思】 ディック・ブルーナについて知る 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表作である「ミッフィー」はどのようにして生まれたのか知る 2 (L/G)</li> </ul>
6 【知】 本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間での Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
7 【知】 関係代名詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 関係代名詞 which の用法活用ドリル (C)</li> </ul>
8 【知/思】 ディック・ブルーナについて知る 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表作である「ミッフィー」はどのようにして生まれたのか知る 3 (L/G)</li> </ul>
9 【知】 本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間での Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
10 【知】 関係代名詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 関係代名詞 that の用法活用ドリル (C)</li> </ul>
11 【知/思】 社会支援活動について理解する 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ミッフィー」の慈善団体への参加によりどのような結果をもたらしているか理解する 1 (L/G)</li> </ul>
12 【知/思】 社会支援活動について理解する 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ミッフィー」の慈善団体への参加によりどのような結果をもたらしているか理解する 2(L/G)</li> </ul>
13 【知/思】 社会支援活動について理解する 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ミッフィー」の慈善団体への参加によりどのような結果をもたらしているか理解する 3 (L/G)</li> </ul>
14 【知】 本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒間での Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
15 【知】 本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文を通して理解したことを英文でまとめる(L)</li> </ul>
16 【知】 本文内容の理解 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時をもとにして意見交換をする(C)</li> </ul>

17	【知/学/思】本文内容の理解 8	● 得た意見をもとにし、英文でまとめる(G/L)
18	【知/学/思】本文内容の理解 9	● まとめた内容を発表する (L/G/C)

単元名 (時数)	Lesson 10 Tsujii, the Greatest Pianist (18 時間)	
時期 (区分)	2~3 月 (第IV期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> 障がいを乗り越えて成功した辻井伸行氏から大切なことは何か学ぶ <b>【思判表】</b> 障がいを抱えて生きていくことがどのようなことか洞察を深める <b>【学び】</b> ノーマライゼーションの基盤となる態度や考え方を身に着ける	
言語	新出表現	関係副詞 Where、関係副詞 When
材料	既習表現	形式主語 It

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
2 【知】関係副詞の用法の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 関係副詞 where の用法活用ドリル (C)</li> </ul>
3 【知/思】辻井伸行さんについて知る 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文の内容からどんな幼少期を過ごしたのか理解する(L)</li> </ul>
4 【知】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
5 【知】関係副詞の用法の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 関係副詞 when の用法活用ドリル (C)</li> </ul>
6 【知/思】辻井伸行さんについて知る 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文の内容からどんな学童期を過ごしたのか理解する(L)</li> </ul>
7 【知】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 音読・内容理解(C)</li> </ul>
8 【知】形式主語 It の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 形式主語 It の用法活用ドリル (C)</li> </ul>
9 【知/思】辻井伸行さんについて知る 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文の内容からどんな中学生以後から現在に至るまでを過ごしたのか理解する(L)</li> </ul>
10 【知】本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間での Q&amp;A 活動を通しての理解(C)</li> </ul>
11 【知/学/思】障害に対する向き合い方を考える 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットを利用し、障害を持っていても活躍している人を調べる(L)</li> </ul>
12 【知/学/思】障害に対する向き合い方を考える 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べた事を生徒間で共有し理解する(L/C)</li> </ul>
13 【知/学/思】障害に対する向き合い方を考える 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時で行って得た情報をもとに、自分の考えも含めて英文で内容を書く(L)</li> </ul>

14	【知/学/思】障害に対する向き合い方を考える 4	● 辻井伸行さんが、どのようにして偉業を達成したのか考える (L?C)
15	【知】本文内容の理解 5	● 音読・文構造理解 (C) ● 生徒間での Q&A 活動を通しての理解(C)
16	【知/学/思】障害に対する向き合い方を考える 5	● 辻井伸行さんの最終目標やその背景にある考えを理解する(L)
17	【知】本文内容の理解 6	● 本文の内容から偉業を達成するために何が必要か考える(L)
18	【知】本文内容の理解 7	● 前時から理解したことを英文で書く(L)

単元名 (時数)	1 年間の学習の振り返り (8 時間)	
時期 (区分)	3 月 (第 I 期)	
単元の目標	【知技】文法事項を振り返りこれまで学んだことを使って表現してみる	
言語	新出表現	
材料	既習表現	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】文法事項の復習 1	基本 5 文型の復習
2 【知】文法事項の復習 2	助動詞の復習
3 【知】文法事項の復習 3	不定詞の復習
4 【知】文法事項の復習 4	動名詞の復習
5 【知】文法事項の復習 5	準動詞の復習
6 【知】文法事項の復習 6	現在完了形の復習 1
7 【知】文法事項の復習 7	現在完了形の復習 2
8 【知】文法事項の復習 8	受け身の復習

## (2) 2年次

単元名 (時数)	Lesson 11 自然からのアイデア (15時間)	
時期 (区分)	4月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> 自然を参考にした産業デザインについて知る <b>【思判表】</b> 周囲の自然に対する新たな着眼点を持つ <b>【学び】</b> 自然の中にある様々な形に科学的な好奇心を持つ	
言語	新出表現	分詞構文、「ほとんどない」を表す little、付加疑問
材料	既習表現	関係副詞、受動態、不定詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
2 【知】 本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
3 【知】 本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物体の形状と抵抗の生じ方について学ぶ (G)</li> </ul>
4 【知】 分詞構文の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分詞構文活用ドリル (C)</li> </ul>
5 【知】 本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
6 【知】 本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
7 【知】 本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
8 【知】 本文内容の理解 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
9 【知】 本文内容の理解 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロータス効果のより精緻な理解 (G)</li> </ul>
10 【知/学】 自然を参考にした産業デザインについて理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットを活用して自然を参考にした産業デザインについてリサーチする (G)</li> </ul>
11 【思/学】 自然を参考にした産業デザインについて理解を深める 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べた内容を英語でまとめる (G/C)</li> </ul>
12 【思/学】 自然を参考にした産業デザインについて理解を深める 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が調べた内容を英語でまとめ、発表しあう (G/C)</li> </ul>
13 【知】 分詞構文の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分詞構文を用いたインプット活動 (C)</li> </ul>
14 【知】 分詞構文の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分詞構文を用いたインプット活動 (C)</li> </ul>
15 【知】 分詞構文の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分詞構文を用いたアウトプット活動 (C)</li> </ul>

単元名 (時数)	Lesson 12 スティーブ・ジョブズ (15時間)	
時期 (区分)	5月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<p>【知技】スティーブ・ジョブズがどのような観点をもって新たなコンピュータを作っていたか理解する</p> <p>【思判表】「点と点をつなぐ」という表現の意図するところを自分たちのこれまでの学びに照らし合わせて洞察を深める</p> <p>【学び】スティーブ・ジョブズの姿勢に学び、自分なりの考えを持つ</p>	
言語	新出表現	仮定法過去
材料	既習表現	分詞構文、関係代名詞、不定詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文内容の理解1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
2 【知】本文内容の理解2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
3 【知/思】本文内容の理解3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータの黎明期と現在との比較からスティーブ・ジョブズの視点に迫る (G)</li> <li>● パラフレーズを通しての理解 (C)</li> </ul>
4 【知】本文内容の理解4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
5 【知】本文内容の理解5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
6 【知/思】本文内容の理解6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スティーブ・ジョブズの姿勢からクリエイティブな考えとはどのようなものか考える (L/G)</li> <li>● パラフレーズを通しての理解 (C)</li> </ul>
7 【知】本文内容の理解7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
8 【知】本文内容の理解8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● パラフレーズを通しての理解 (C)</li> </ul>
9 【知】仮定法過去の学習1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮定法の理解に向けたドリル (C)</li> </ul>
10 【知】仮定法過去の学習2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮定法を用いた表現活動 (C)</li> </ul>
11 【知/思】仮定法過去の学習3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮定法を用いた英語のインプット活動 (C)</li> </ul>
12 【知/思】仮定法過去の学習4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮定法を用いた英語のインプット活動 (C)</li> </ul>
13 【知/思】自己表現活動1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世の中にある斬新なアイデアの例を探る (G)</li> </ul>
14 【知/思/学】自己表現活動2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が見つけた斬新なアイデアのすばらしさを説明しあう (C/G)</li> </ul>
15 【思/学】自己表現活動3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の空想的アイデアを仮定法を使って表現しあう (L/G/C)</li> </ul>

単元名 (時数)	Enjoy Reading 星の王子さま (18時間)	
時期 (区分)	6~7月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> 物語特有のレトリックを理解する <b>【思判表】</b> 物語中で比喻として述べられている所表現の意図を深く洞察する <b>【学び】</b> 物語を通して人生について自分なりの考えを深める	
言語材料	新出表現	序数
	既習表現	進行形、不定詞、関係代名詞、動詞の不規則変化 接続詞 that が導く名詞節、助動詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
2 【知】 本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
3 【知/思】 本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 親しい人とのいさかいの経験を振り返り、星の王子さまとバラの気持ちを探る (L)</li> <li>● パラフレーズを通しての理解 (C)</li> </ul>
4 【知】 本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
5 【知】 本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
6 【知/思】 本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6つの惑星の住人が実際にはどのような人といえるのか考え、世の中や人生について考えを深め内容理解につなげる (L/G)</li> <li>● パラフレーズを通しての理解 (C)</li> </ul>
7 【知】 本文内容の理解 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
8 【知】 本文内容の理解 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● パラフレーズを通しての理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
9 【知】 本文内容の理解 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分自身の人間関係の構築や継続の仕方を振り返り、登場人物であるキツネの発言の真意に迫る (L)</li> <li>● パラフレーズを通しての理解 (C)</li> </ul>
10 【思/人】 人生について自分の考えを深める 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書本文を踏まえ、自分はどのような人生を願い、どのような人生を望むのか理由とともに考える (L)</li> </ul>
11 【思】 人生について自分の考えを深める 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時の活動に基づき、自分の考えを英語で発表しよう (L/C)</li> </ul>

12	【思/人】 人生について自分の考えを深める 3	● 様々な偉人の考え方や人生が伝わる英文を読み、自分の考えを深める (L/G)
13	【思/人】 自分の好きな物語の紹介をする 1	● 自分が好きな物語を決め、それに決めた理由を考える (L)
14	【思/人】 自分の好きな物語の紹介をする 2	● 自分が好きな物語の紹介文を作る 1 (L/G/C)
15	【思/人】 自分の好きな物語の紹介をする 3	● 自分が好きな物語の紹介文を作る 2 (L/G/C)
16	【思/人】 自分の好きな物語の紹介をする 4	● 自分が好きな物語の紹介文を作る 3 (L/G/C)
17	【思/人】 自分の好きな物語の紹介をする 5	● 自分が好きな物語の紹介を互いにしあう 1 (L/G/C)
18	【思/人】 自分の好きな物語の紹介をする 6	● 自分が好きな物語の紹介を互いにしあう 2 (L/G/C)

単元名 (時数)	Birthday、 Here and There ( 1 1 時間)	
時期 (区分)	7~8 月 (第 II 期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> 世界の誕生日の祝い方を知る <b>【思判表】</b> 自分の誕生日の祝い方を説明する <b>【学び】</b> 誕生日の祝い方にも文化が反映されることに気づく	
言語	新出表現	online(副詞), some(~な人/ものもある)
材料	既習表現	間接疑問

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 登場する国についてもリサーチする。(L/G)</li> </ul>
2 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● Q&amp;A 活動を通して内容理解 (C)</li> </ul>
3 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 世界のことわざなどをリサーチする。(L/G)</li> </ul>
4 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● Q&amp;A 活動を通して内容理解 (C)</li> </ul>

5	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● Q&amp;A 活動を通して内容理解 (C)</li> </ul>
6	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>
7	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 自分の食事について相手に紹介する。(C)</li> </ul>
8	【知】疑問詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 復習ドリル (C)</li> </ul>
9	【知】疑問詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 日本の朝食を ALT に自由英作文で紹介する。(L/G)</li> </ul>
10	【知】疑問詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ペアークワークで食品名を紹介する。(C)</li> </ul>
11	【思・学】食生活に対する現代の考え方を学ぶ	インターネットで日本と他国の食文化などをインターネットで調べる。(L/G)

単元名 (時数)	The Emerald Isle (1 1 時間)	
時期 (区分)	9 月 (第 II 期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> アイルランドの歴史や文化に触れる <b>【思判表】</b> 自分の文化を理解し、誇りと愛着を持つことの意義を考える <b>【学び】</b> 自他の文化を大切にす態度や考え方を身に着ける	
言語	新出表現	in common, be rich in ~,
材料	既習表現	比較表現

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● アイルランドと日本の文化の違いについてリサーチする。(L/G)</li> </ul>
2 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● アイルランドの公用語や世界の言葉について考察する。(L/G)</li> </ul>

3	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● アイルランドと日本の祝日などについて考察する。(L/G)</li> </ul>
4	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 文化の共通点などを考える。(L/G)</li> </ul>
5	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 気候風土について考察する。(L/G)</li> </ul>
6	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ノーベル賞について考察する。(L/G)</li> </ul>
7	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (L/G)</li> <li>● 異文化について考え、プレゼンテーションを行う。(L/G)</li> </ul>
8	【知】比較の用法の理解	● 音読・文構造理解 (C) 比較級を作る。(C)
9	【知】比較の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 比較級を作り、訪れたい国などを選び、環境名所などを揚げ話し合う。(C)</li> </ul>
10	【知】比較の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 訪れたい理由なども加えて、口頭で発表する。</li> <li>● (L/G)</li> </ul>
11	【思・学】アイルランドの地理歴史、言語、文学者を学ぶ	<p>インターネットでアイルランドと日本を比較して考察する。(L/G)</p> <p>アイルランドのことわざなども調べてみる。(L/G)</p>

単元名 (時数)	東川郷土研究 (12時間)	
時期 (区分)	10月 (第Ⅲ期)	
単元の目標	<p>【知技】郷土研究を通して自分が暮らす地域を知る</p> <p>【思判表】どのように自分が暮らす地域の魅力を伝えるか工夫する</p> <p>【学び】郷土研究を通して自分が生まれ育った地域に対して愛着を持つ</p>	
言語	新出表現	
材料	既習表現	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【知/学】東川についての学習1	● 東川町の歴史について学ぶ（L）
2 【知/学】東川についての学習2	● 東川町の自然環境について学ぶ（L）
3 【知/学】東川についての学習3	● 東川町の産業について学ぶ（L）
4 【知/学】東川についての学習4	● 東川町の町づくりについて学ぶ（L）
5 【思/学】中間段階でのまとめ1	● 前時までの学習内容をまとめる（L/C）
6 【思/学】中間段階でのまとめ2	● 前時までの学習内容をまとめる（L/C）
7 【思/学】東川の魅力プレゼンテーション1	● 東川の魅力をプレゼンテーション用にまとめる（L/C）
8 【思/学】東川の魅力プレゼンテーション2	● 東川の魅力を伝えるカードを作成する（L/C）
9 【思/学】東川の魅力プレゼンテーション3	● 東川の魅力を伝えるカードを作成する（L/C）
10 【思/学】東川の魅力プレゼンテーション4	● 東川の魅力を伝えるカードを完成させる（L/C）
11 【思/学】	● 東川の魅力を伝えるプレゼンテーションをする（L/C）
12 【思/学】	● 東川の魅力を伝えるプレゼンテーションをする（L/C）

単元名（時数）	見学旅行準備（6時間）
時期（区分）	10月（第Ⅲ期）
単元の目標	<p>【知技】外国人観光客とふるさと紹介をしあえるコミュニケーション力を身に着ける</p> <p>【思判表】どのように互いの故郷についてよりよく理解しあえるか工夫する</p> <p>【学び】コミュニケーションをとる楽しみを通して諸外国への関心を高める</p>
言語	新出表現
材料	既習表現

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【思/学】東川紹介のための英文作成1	● 前単元の学習を踏まえて、表現に工夫をしながら英文を作る（C）
2 【思/学】東川紹介のための英文作成2	● 前単元の学習を踏まえて、表現に工夫をしながら英文を作る（C）
3 【思/学】東川紹介のための英文作成3	● 東川紹介の英文を完成させる（C）

4	【思/学】外国人観光客に話しかけるトレーニング1	● ALT や CIR などの協力を得て外国人観光客に話しかける練習をする (C)
5	【思/学】外国人観光客に話しかけるトレーニング2	● ALT や CIR などの協力を得て外国人観光客に話しかける練習をする (C)
6	【思/学】外国人観光客に話しかけるトレーニング3	● ALT や CIR などの協力を得て外国人観光客に話しかける練習をする (C)

単元名 (時数)		The Sagrada Familia (1 1 時間)	
時期 (区分)		11 月 (第 II 期)	
単元の目標		【知技】 サグラダ・ファミリアの様々な特徴の背景について学ぶ 【思判表】 【学び】	
言語材料	新出表現	名詞を修飾する分詞 名詞+過去分詞      名詞+現在分詞	
	既習表現	比較表現	

毎時間の目標【知/思/学】		活動例 (L/G/Cの内容)
1	【知】本文の内容理解	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C) ● 日本の世界遺産について考察する。(L/G)
2	【知】本文の内容理解	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C) ● 世界の世界遺産について考察する。(L/G)
3	【知】本文の内容理解	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C) ● 無冠詞などについて理解する。(C)
4	【知】本文の内容理解	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C)
5	【知】本文の内容理解	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C) ● Q&A 活動を通して内容理解 (C)
6	【知】本文の内容理解	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C) ● Q&A 活動を通して内容理解 (C)
7	【知】分詞の用法の理解	● 音読・文構造理解 (C) ● 英語表現に気をつけながら、英文を作る。(C)
8	【知】サグラダファミリアについて深く知る	● 教科書に触れていない部分の特徴やデザインの工夫を調べ、より深く知る (G)

9	【思・学】海外の協会と日本の寺院との共通点・相違点を探る 1	● 京都にある宗教建築物を調べ、サグラダファミリアをはじめとする海外の宗教建築物と比較する (L/G)
10	【思・学】海外の協会と日本の寺院との共通点・相違点を探る 2	● 上記の活動を踏まえ、共通点と相違点を英語でまとめてみる
11	【思・学】海外の協会と日本の寺院との共通点・相違点を探る 3	● 上記活動を踏まえ、英語で情報交換をする

単元名 (時数)	Nobel Prize Episodes (11 時間)	
時期 (区分)	12 月 (第 II 期)	
単元の目標	<p>【知技】 ノーベル賞の歴史に触れる</p> <p>【思判表】 ノーベル賞にまつわるエピソードから、自分たちの学びや生き方に行かせられる点がある何かを考え、表現する</p> <p>【学び】 平和を希求すること、進歩し続けること、そして表現力を持つことの重要性を自身につなげて洞察を深める</p>	
言語	新出表現	知覚動詞、Tell~to do
材料	既習表現	比較表現

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ノーベル賞の歴史などについてリサーチする。(L/G)</li> </ul>
2 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● アルファベットノーベルについて考察する。(L/G)</li> </ul>
3 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 財団の維持管理について考察する。</li> </ul>
4 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 平和賞の設立や歴史などを考察する。(L/G)</li> </ul>
5 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 日本人のノーベル賞の歴史を調べる。(L/G)</li> </ul>

6	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 受賞者だけに与えられる食事などを調べる。(L/G)</li> </ul>
7	【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ビタミンやビタミンの役割について知る。(L/G)</li> </ul>
8	【知】知覚動詞の用法の理解	● 音読・文構造理解 不定詞についての復習 (C)
9	【知】知覚動詞の用法の理解	● 音読・文構造理解 文法事項を確認しながら、頼まれたり、言われたことを伝え合う。(C)
10	【知】知覚動詞の用法の理解	● 音読・文構造理解 ノーベル賞受賞者を選び、その人物について話し合う。(L/G/C)
11	【思・学】ノーベル賞の歴史を学ぶ	インターネットで財団の維持管理やノーベル賞の歴史を調べ、友達と共有する。(L/G)

単元名 (時数)	Flowers in the Tomb (1 1 時間)	
時期 (区分)	1 月 (第 II 期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> ツタンカーメンの墓発見にまつわるエピソードを知る <b>【思判表】</b> 古代エジプトについて関心を持つ <b>【学び】</b> 古代の文明や遺跡が自分たちとどのような関係があるのか考える	
言語材料	新出表現	使役動詞      make + 目的語 + 動詞の原形 関係代名詞    what + 主語 + 動詞
	既習表現	V + O + to

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 古代エジプトについて考察し、日本と比較する。(L/G)</li> </ul>
2 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ツタンカーメンとアンケセナーメンとの関係を調べる。(L/G)</li> </ul>
3 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ツタンカーメンの墓についてインターネットで調べる。(L/G)</li> </ul>
4 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 今と昔の死者に対する考え方を伝え合う。(C)</li> </ul>
5 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 本文をよみ、Q&amp;A 活動を通して内容理解 (C)</li> </ul>
6 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 使役動詞を理解しながら、リスニング問題を解く。(C)</li> </ul>
7 【知】本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● フレーズを使って、英文を作る。(C)</li> </ul>
8 【知】知覚動詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● イディオムを理解しながら ALT とやりとりをする。(C)</li> </ul>
9 【知】知覚動詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 知覚動詞の英作文を作る。(C)</li> </ul>
10 【知】知覚動詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 英語で表現してみる。(C)</li> </ul>
11 【思・学】ピラミッドについて学ぶ	インターネットでピラミッドや古代の人のあり方を探る。(L/G)

単元名 (時数)	Becoming the Best (11時間)	
時期 (区分)	2月 (第Ⅱ期)	
単元の目標	<b>【知技】</b> 錦織選手がどのような心構えを持って競技に臨んでいるのか学ぶ <b>【思判表】</b> 錦織選手のどのような部分を積極的に見習いたいと考えを述べる <b>【学び】</b> 自分自身の成長にどのように結びつけるか考えを深める	
言語材料	新出表現	疑問詞+to 不定詞    疑問詞(how) to 不定詞 Seem の用法    It seems that ~
	既習表現	使役動詞構文

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 <b>【知】</b> 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認および音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 錦織選手の歩みを考察する。アメリカと日本の生活の違いを考察する。(L/G)</li> </ul>
2 <b>【知】</b> 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認および音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 世界で活躍しているスポーツ選手を探る。(L/G)</li> </ul>
3 <b>【知】</b> 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認および音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 言葉の違いについてペアで話し合い、どのように克服していったかを考えさせる。(L/G)</li> </ul>
4 <b>【知】</b> 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認および音読・文構造理解 (C)</li> <li>● アメリカと日本の医療保険などについて考察する (L/G)。</li> </ul>
5 <b>【知】</b> 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認および音読・文構造理解 (C)</li> <li>● テニスの世界大会について調べる。(L/G)</li> </ul>
6 <b>【知】</b> 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認および音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 発音・イントネーションについて ALT と一緒に音読する。(C)</li> </ul>
7 <b>【知】</b> 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認および音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 錦織選手の困難と努力について必要な事を考え、まとめ、グループで話し合う。(L/G)</li> </ul>
8 <b>【知】</b> 知覚動詞の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 様々な場面設定で知覚動詞を理解し表現する。(C)</li> </ul>
9 <b>【思・学】</b> 錦織選手について学ぶ	● 錦織選手歴史や活躍ぶりを調べ、どのような努力してきたのか自分と比べる。(L/G)
10 <b>【思・学】</b> スポーツ選手について学ぶ1	● 自分が好きなスポーツ選手について、どのような信念をもって競技に取り組んでいるか調べまとめる
11 <b>【思・学】</b> スポーツ選手について学ぶ2	● 前時の内容を踏まえ、英語で発表しあう

単元名 (時数)	The Galapagos Islands (18 時間)	
時期 (区分)	3 月 (第 II 期)	
単元の目標	<p>【知技】 ガラパゴス諸島の環境について、どのような危機があり、どのように克服しようとしているのか知る</p> <p>【思判表】 環境破壊のきっかけと経過について学びを深める</p> <p>【学び】 環境保全の主体者として自分に何ができるのか考える</p>	
言語材料	新出表現	現在完了進行形～ have(has)been doing 形式目的語 It ～ find it important to do
	既習表現	seem to ～、間接疑問

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 世界各国の世界遺産について調べ、遺産の経緯を考えさせる。(L/G)</li> </ul>
2 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ガラパゴス諸島や生態系について調査する。(L/G)</li> </ul>
3 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ガラパゴス諸島の抱えている諸問題について考察する。(L/G)</li> </ul>
4 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 小笠原諸島について調べ、ガラパゴス諸島と比較する。(L/G)</li> </ul>
5 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● ボルネオの自然保護について比較し、プレゼンテーションする。(L/G)</li> </ul>
6 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 地球全体で起こっている諸問題について考える。(L/G)</li> </ul>
7 【知】 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 自然保護について自分が出来る事を考え、ペアで伝え合う。(C)</li> </ul>

8	【知】現在完了進行形の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 習った文法事項で英文を書く。(C)</li> </ul>
9	【知】現在完了進行形の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 世界遺産について調べた事を発表する。(L/G)</li> </ul>
10	【知】形式目的語 It の用法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 発表後、Q&amp;A 時間を設定し、各意見を聞き取る。(C)</li> </ul>
11	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間が環境をどのように損なってきたか、あるいは保護してきたかインターネットで調べる。(L/G)</li> </ul>
12	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーマを設定し、環境破壊もしくは保護について経緯と今後の対策を調べる。(1) (L/G)</li> </ul>
13	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーマを設定し、環境破壊もしくは保護について経緯と今後の対策を調べる。(2) (L/G)</li> </ul>
14	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまで調べた内容を英語にする。(C)</li> </ul>
15	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまで調べた内容を英語にする。(C)</li> </ul>
16	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調べた内容を英語を通して発表しあう (C)</li> </ul>
17	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習を通して学んだ、自然環境に係る課題や成果をまとめる。(L/G)</li> </ul>
18	【思・学】人類の営みが環境に与えてきた影響を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習全体を振り返る。(L/G)</li> </ul>

## (3) 3年次

単元名 (時数)	Lesson 1 Staying in Space (7 時間)	
時期 (区分)	4 月 (第 II 期)	
単元の目標	【知技】宇宙での暮らしについて触れる 【思判表】無重力が人の体や生活に及ぼす影響について、知識や考えを広げる 【学び】宇宙開発について関心を持つ	
言語材料	新出表現	比較級+than usual
	既習表現	目的格に名詞節を持つ第 3 文型の文 目的格に名詞節を持つ第 4 文型の文

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/C の内容)
1 【知】本文内容の理解 1	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C)
2 【知】本文内容の理解 2	● 音読・文構造理解 (C) ● 宇宙食開発の着眼点を知る (G) ● 生徒間の Q&A 活動を通しての理解 (C)
3 【知】本文内容の理解 3	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C)
4 【知】本文内容の理解 4	● 音読・文構造理解 (C) ● 無重力空間で起こる体調変化を知る (G) ● 生徒間の Q&A 活動を通しての理解 (C)
5 【知】文法事項の整理	● that が導く名詞節の用法の確認
6 【思/人】宇宙にまつわるトピックについて意見交換する 1	● 宇宙にまつわるトピックを一つ設定し、自分の意見を英語で表現する G/C)
7 【思/人】宇宙にまつわるトピックについて意見交換する 2	● 設定したトピックについて、生徒同士で英語で意見交換をする (G/C)

単元名 (時数)	Lesson 3 空中農場 (14 時間)	
時期 (区分)	5~6 月 (第 II 期)	
単元の目標	【知技】シンガポールで取り入れられている新たな農場について学ぶ 【思判表】シンガポールの事例をきっかけに、どのような農業にまつわる課題があり、どのように解決できるか考える 【学び】農業課題が自分たちとかわりがあるものであり、その解決に向けた課題意識を持つ	
言語材料	新出表現	疑問詞+不定詞、such as、It takes 時間 for S' to V'
	既習表現	序数を用いた列挙の文章構成

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> </ul>
2 【知】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
3 【知/思】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空中農場とはどのようなものか理解し、その利点を予想する（G）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
4 【知】本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> </ul>
5 【知】本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
6 【知/思】本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空中農場の利点を理解し、どのような農業課題に対して効果的なのか考える（L/G）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
7 【知】疑問詞+to do 表現の学習 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 疑問詞+to do 表現の理解に向けたドリル（C）</li> </ul>
8 【知】疑問詞+to do 表現の学習 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 疑問詞+to do 表現を用いた表現活動（C）</li> </ul>
9 【知/学】世界の農業の諸課題について学ぶ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外の農業課題についての英文を読む（G/C）</li> </ul>
10 【知/学】世界の農業の諸課題について学ぶ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外の農業課題についての英文を読む（G/C）</li> </ul>
11 【思/学】世界の農業の諸課題について自分の意見を持つ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業の諸課題について学んだ中で、自分が最も興味をひかれたテーマについて意見をまとめる（C）</li> </ul>
12 【思/学】世界の農業の諸課題について自分の意見を持つ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時の活動に基づき、自分の意見を英語にする（C）</li> </ul>
13 【思/学】世界の農業の諸課題について自分の意見を持つ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時の活動に基づき、自分の意見を英語にする（C）</li> </ul>
14 【思/学】世界の農業の諸課題について自分の意見を持つ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界の農業の諸課題について、英語でスピーチする（C）</li> </ul>

単元名 (時数)	町内取材活動 (地域探究学習 兼 Globe 学習) (9 時間)	
時期 (区分)	5~6 月 (第IV期)	
単元の目標	<p>【知技】東川町内で顕著な活躍をしている人物に取材に赴き、東川町の魅力と仕事の意義を聞き取る。</p> <p>【思判表】取材方法を工夫することで、よりよいコミュニケーションのあり方を考える</p> <p>【学び】社会が様々な熱意や使命感などで構成されていることを実感し、自身自身の社会参画意識の高揚に繋げる</p>	
言語	新出表現	
材料	既習表現	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【学】取組の内容と意義の確認	● 地元地域の研究を通して、自身の社会参画への準備をすることを理解する (L)
2 【学】取材対象の選定	● 自分の興味・関心と取材対象の背景を鑑み、取材対象を選定する (L)
3 【知/学】取材のあり方と方法の研修	● 外部講師を招き、取材のあり方、方法、まとめ方などの研修を受ける (C)
4 【思/学】質問項目の検討 1	● 質問項目を検討する (C)
5 【思/学】質問項目の検討 2	● 質問項目を決定し、役割確認をする (C)
6 【思/学】取材活動 1	● 取材を行う (L)
7 【思/学】取材活動 2	● 取材を行う (L)
8 【思/学】取材活動 3	● 取材を行う (L)
9 【思/学】活動のまとめ 1	● 取材内容をまとめる (L)

単元名 (時数)	Lesson 4 目標設定 (14 時間)	
時期 (区分)	6~7 月 (第II期)	
単元の目標	<p>【知技】目標設定の大切さを知る</p> <p>【思判表】目標設定がどのような変化を自分にもたらしうるのか考える</p> <p>【学び】自分が持つ夢に対し、新たな目標設定をする</p>	
言語	新出表現	enough の語法、in this way
材料	既習表現	分詞構文、助動詞、動名詞、不定詞

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>

2	【知/思】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本田圭佑の小学校時代の目標を知り、自分自身の小学校時代に目標を振り返る (G)</li> <li>● 英問英答を通しての理解 (C)</li> </ul>
3	【知】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
4	【知/思】本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文の助言を理解し、自分自身について what と when の目標を立ててみる (L/G)</li> <li>● 英問英答を通しての理解 (C)</li> </ul>
5	【知】本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
6	【知/思】本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文の助言を理解し、自分自身について目標からの逆算的な計画を立ててみる (L/G)</li> <li>● 英問英答を通しての理解 (C)</li> </ul>
10	【知】文法事項の復習 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分詞の整理 (C)</li> <li>● 分詞構文の復習ドリル (C)</li> </ul>
11	【知/学】著名人の目標設定と成果について知る 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 著名人の目標設定と成果についての英文を読む (G/C)</li> </ul>
12	【知/学】著名人の目標設定と成果について知る 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 著名人の目標設定と成果についての英文を読む (G/C)</li> </ul>
13	【思/学】将来に向けての目標を立てる 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習内容を踏まえ、将来に向けての目標を立てる (C)</li> </ul>
14	【思/学】将来に向けての目標を立てる 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時の活動に基づき、自分の目標を英語で発表する (C)</li> </ul>

単元名 (時数)	Lesson 5 高校生レストラン (14 時間)	
時期 (区分)	8~9 月 (第 II ~IV 期)	
単元の目標	<p>【知技】「まごの店」で働く高校生の主人公が、働くことに対してどのような考えを持つようになったか知る</p> <p>【思判表】働くことの意義や持つべき姿勢を本文からさらに広げて考え、その考えを互いに共有する</p> <p>【学び】およそ半年後に社会に出る身として、働くことの意義について改めて洞察を深める</p>	
言語	新出表現	make sense、for sure、
材料	既習表現	形式主語 it を用いる文

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【知】 本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
2 【知/思】 本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登場人物の気持ちや理解の変化を読み取る（L）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
3 【知】 本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
4 【知/思】 本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登場人物の経験とそれを通して気づいたことを理解する（L）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
5 【知】 本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
6 【知/思】 本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登場人物の工夫とその成果を理解する（L）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
10 【知】 文法事項の復習	● 形式目的語を用いた表現の確認
11 【思】 登場人物の気づきの整理	● 登場人物がどのような経験からどのような気づきを得たのか整理し、英語でまとめる
12 【思】 働くことの意義の洞察 1	● 教科書内容、生徒自身の経験、そして町内取材活動の内容を踏まえ、自分なりの働く意義について考えをまとめる
13 【思】 働くことの意義の洞察 2	● 上記活動でまとめた内容を、英語にする
14 【思】 働くことの意義の洞察 3	● 働く意義について自分の意見を英語で発表し、意見交換する

単元名（時数）	Lesson 6 モノの形（12時間）	
時期（区分）	10月（第Ⅱ期）	
単元の目標	<b>【知技】</b> 何気ない周囲の物の形にも意味や意図があることを理解する <b>【思判表】</b> 周囲の形の意図を再発見し、共有しあう <b>【学び】</b> 周囲の物の形に対し、工夫や意図の面から新たな視点を持つ	
言語	新出表現	関係代名詞 what、劣等比較 less
材料	既習表現	that が導く名詞節、

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
2 【知/思】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 穴の開いた硬貨の歴史と意図を知る（L）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
3 【知】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
4 【知/思】本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観覧車のゴンドラの形状の意図を知る（L）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
5 【知】本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
6 【知/思】本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ねじのプラスとマイナスの違いの意図を知る（L）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>
10 【知】文法事項の復習	● 関係代名詞 what を用いた表現の確認
11 【思/学】身の回りのモノの形について考える 1	● 身の回りにある何気ないものの形に着目し、どのような意義や効果があるのかリサーチする
12 【思/学】身の回りのモノの形について考える 2	● 前時のリサーチ内容を英語でまとめ、発表する

単元名（時数）	Lesson 7 フジ、新しいひれのイルカ（12時間）	
時期（区分）	11月（第Ⅱ期）	
単元の目標	<b>【知技】</b> 病気で尾びれを失ったイルカをどのような工夫で救ったか理解する <b>【思判表】</b> 人のどのような工夫が動物を救うのか、他の事例も調べ共有しあう <b>【学び】</b> 動物愛護の面で自分たちに何ができるか考える	
言語	新出表現	過去完了
材料	既習表現	V+O+to do、受動態

毎時間の目標【知/思/学】	活動例（L/G/Cの内容）
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認（C）</li> <li>● 音読・文構造理解（C）</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解（C）</li> </ul>
2 【知/思】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イルカの「フジ」が尾びれを失った経緯を知る（L）</li> <li>● 英問英答を通しての理解（C）</li> </ul>

3	【知】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
4	【知/思】本文内容の理解 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人工尾びれを作ることになった経緯を知る (L)</li> <li>● 英問英答ズを通しての理解 (C)</li> </ul>
5	【知】本文内容の理解 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
6	【知/思】本文内容の理解 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人工尾びれ完成までの経緯を知る (L)</li> <li>● 英問英答を通しての理解 (C)</li> </ul>
10	【知】文法事項の復習	● 過去完了を用いた表現の確認
11	【思/学】動物と人とのかかわりを学ぶ 1	● イルカの「フジ」以外で、人と動物とが特筆すべき関係を持った事例を探る
12	【思/学】動物と人とのかかわりを学ぶ 2	● 前時のリサーチ内容を英語でまとめ、発表する

単元名 (時数)	Lesson 8 そのサービスは必要ですか (13時間)	
時期 (区分)	12月 (第Ⅲ期)	
単元の目標	<p>【知技】海外からの視線で見た時、日本境の様々なサービスに良い面と悪い面とがあることを知る</p> <p>【思判表】良い面と悪面の両方を持つサービスを新たな視点で見ることを通し、自分の意見や判断を根拠をもって述べる</p> <p>【学び】ディベート活動を通して議論の基本を身に着ける</p>	
言語	新出表現	使役動詞構文、keep+O+from ~ing
材料	既習表現	不定詞、V+O+to do、

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【知】本文内容の理解 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
2 【知/思】本文内容の理解 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動販売機の是非について理解・整理する (L)</li> <li>● 英問英答を通しての理解 (C)</li> </ul>
3 【知】本文内容の理解 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙の整理と確認 (C)</li> <li>● 音読・文構造理解 (C)</li> <li>● 生徒間の Q&amp;A 活動を通しての理解 (C)</li> </ul>
4 【知/思】本文内容の理解 4	● ブックカバーの是非について理解・整理する (L)

		● 英問英答ズを通しての理解 (C)
5	【知】 本文内容の理解 5	● 語彙の整理と確認 (C) ● 音読・文構造理解 (C) ● 生徒間の Q&A 活動を通しての理解 (C)
6	【知/思】 本文内容の理解 6	● 駅構内アナウンスの是非について理解・整理する (L) ● 英問英答を通しての理解 (C)
10	【知】 文法事項の復習	● 使役動詞を用いた表現の確認
11	【思/学】 根拠をもって自分の意見を述べる 1	● 本文で扱われた自動販売機・ブックカバー・駅構内アナウンスの是非について意見交換する ● 意見交換活動を通して、ディベートの基礎を学習する
12	【思/学】 根拠をもって自分の意見を述べる 2	● 基礎的なディベートの練習を日本語で ● トピックを定め、英語でのディベート準備をする
13	【思/学】 根拠をもって自分の意見を述べる 3	● 定められたトピックに基づいて、英語でディベート活動をする

単元名 (時数)	自己洞察と社会貢献 (5 時間)	
時期 (区分)	1 月 (第IV期)	
単元の目標	【学び】 これまで学んだ社会の諸課題と自分の関心・適性を振り返り、自らの社会貢献のあり方・可能性を探る	
言語	新出表現	
材料	既習表現	

毎時間の目標【知/思/学】	活動例 (L/G/Cの内容)
1 【思/学】 関心を持った社会の課題について学びを深める 1	● これまで学んだ社会の諸課題から関心の持ったものを選び、さらにリサーチする (L/G)
2 【思/学】 関心を持った社会の課題について学びを深める 2	● これまで学んだ社会の諸課題から関心の持ったものを選び、さらにリサーチする (L/G)
3 【思/学】 自分が選んだ課題に対する向き合い方を考える 1	● 自分が選んだ社会の課題について、どのように主体的に向き合えるか考え、文章にする (L/G/C)
4 【思/学】 自分が選んだ課題に対する向き合い方を考える 2	● 自分が選んだ社会の課題について、どのように主体的に向き合えるか考え、英文にする (L/G/C)
5 【思/学】 自分が選んだ課題に対する向き合い方を考える 3	● 自分の社会の課題に対する向き合い方について、英語で発表しあう (L/G/C)